

事業概要等説明資料（1）

令和7年11月18日

岐阜女子大学

1

事業概要（1）

岐阜女子大学は、女性の視点から思考し、課題の見出しと解決案を提案できる人材の育成を目指しています。

【計画】

- ・「建築デザイン創造学科」と「食農デザイン学科」からなる「グリーンライフ創造学部」の設置
- ・文化創造学部に「デジタルフロンティア学科」を設置

2

事業概要（2）

岐阜女子大学

家政学部

生活科学科
生活科学専攻
建築デザイン専攻
健康栄養学科



グリーンライフ 創造学部



建築デザイン創造学科
食農デザイン学科

文化創造学部

文化創造学科

文化創造学部

デジタルフロンティア学科（新設）

3

事業計画の現在の進捗状況（1）

【計画1-①】令和6年7月 新学科設置準備室を設置する。

【進捗状況】①

- ・令和6年12月～令和7年1月 設立協議会への協力依頼企業の選出および協議会を設置。
- ・令和6年9月～令和7年3月 ニーズに関わる事項（ニーズ調査、視察含む）・・・学生ニーズを把握するため、岐阜県教育委員会と連携し県下の国公私立の高等学校1・2年生にアンケートを実施（令和7年2月）
- ・令和6年7月～ 3つのポリシー、設置許可申請に関わる事項を新学科設置準備室で検討

4

事業計画の現在の進捗状況（2）

【進捗状況】②

- ・令和6年7月～ カリキュラム、付随する取得できる資格（ドローン資格など）、招聘教員（30%増）および教員組織等人事に関わる事項・・・それぞれに部会で検討
- ・令和6年7月～ 地域で活躍する企業や自治体との連携協定に関わる事項・・・設立協議会委員委嘱と関連し協定内容について継続検討
- ・令和7年2月 入学者確保のための広報、高大連携、入学者選抜、特別選抜に関わる事項・・・オープンキャンパスの早期開催、公開講座の多様化、奨学金の見直し

5

事業計画の現在の進捗状況（3）

【進捗状況】③

- ・令和6年10月 キャリア支援（就職先確保）に関する事項
- ・令和6年7月 外部資金獲得に関する事項（公募事業への申請）
- ・令和7年2月 事業評価に関わる事項・・・外部評価委員会実施
- ・令和7年2月 ニーズ調査の実施・・・岐阜県下の高校に設立構想に関係するアンケートを実施
- ・令和6年10月 その他運営、設置に関わる事項・・・収容定員関係学科新設等に先駆けて学則変更届（令和7年4月施行）
 - ・家政学部生活科学科 200人→160人（40人減）
 - ・家政学部健康栄養学科 480人→320人（160人減）
 - ・文化創造学部文化創造学科 640人→380人（260人減）

6

事業計画の現在の進捗状況（4）

【計画1-②】新設学科構想ごとに設立協議会を設置する。

【進捗状況】①

- ・令和6年12月 建築デザイン創造学科設立協議会開催（～3月）
- ・令和7年1月 食農デザイン学科設立協議会開催（～3月）
- ・令和6年12月 デジタルフロンティア学科設立協議会開催（～3月）
- ・令和6年11月 設置目的と社会ニーズの整合性および育成する人材に関わる事項（視察）
- ・令和6年7月～ 社会ニーズに合った人材を育成するためのカリキュラム構成と教員資質および教員組織に関する事項

7

事業計画の現在の進捗状況（5）

【進捗状況】②

- ・令和6年9月～ 地域連携、高大連携に関する事項の検討
- ・令和7年2月～ 実習フィールドや工場確保に関する検討・依頼
- ・令和7年2月～ 必要施設設備の整備計画に関する事項（計画指導・助言）
- ・令和6年10月～ キャリア支援（就職先分野）に関する事項への助言

8

事業計画の現在の進捗状況（6）

【計画1-③】新設学科構想ごとに全体統括をするコーディネーターを採用・配置する

【進捗状況】①

- ・令和6年9月 建築デザイン創造学科 高村秀紀氏委嘱(～3月)
- ・令和6年9月 食農デザイン学科 福井博一氏委嘱(～3月)
- ・令和6年9月 デジタルフロンティア学科 鎌部浩氏委嘱(～3月)
- ・令和6年12月 建築デザイン創造学科設立協議会開催(～3月)
- ・令和7年1月 食農デザイン学科設立協議会開催(～3月)
- ・令和6年12月 デジタルフロンティア学科設立協議会開催(～3月)

9

事業計画の現在の進捗状況（7）

【進捗状況】②

- ・令和6年7月～ 授業科目と教員資格に関する事項の助言・指導
- ・令和6年7月～ 3つのポリシー、カリキュラムに係る計画に係る事項
- ・令和6年9月～ 設置審に関わる事項の支援

10

連携を通じた教育体制の整備と実施（1）

【計画及び進捗状況】①（建築デザイン創造学科）

- ・これまで包括連携協定等を締結して連携を行ってきた地方自治体（岐阜県、岐阜市、山県市、各務原市等）とは、今後とも空き家リノベーション事業等で連携を拡充し、産官学連携による実践的なPBL等の場を確保していく。
- ・また、現在本学全体として進めている授業のe-Learning化を活用して、より集中的あるいは中長期のPBL等の実習を実現する。

11

連携を通じた教育体制の整備と実施（2）

【計画及び進捗状況】②（食農デザイン学科）

- ・これまでに、JA（長良ぶどうの加工）や近隣市町（山県市+美濃山県元気ファーム；にんにく加工品）、地元企業（道の駅美濃にわか茶屋；仙寿菜の活用、体験農園みとか；収穫物を活用したカフェメニューの提案）と地域活性化にあたり連携や、近隣市町の住民を対象にした健康増進事業を推進してきた。
- ・農場運営やスマート農業を見据えたJAや地域のマーケット（株式会社バロー）の農場、水耕栽培を先行する企業と連携をすべく、フェーズ1期間中に見直しを行い関係機関の強化と内容の拡大を図る。

12

連携を通じた教育体制の整備と実施（3）

【計画及び進捗状況】③（デジタルフロンティア学科）

- ・現在のメタバース・データサイエンス等の授業では、産官学連携で連携している岐阜県下呂市、下呂市観光協会、及び電算システム㈱から講師を招聘して、DMOと観光DX、地域貢献に役立つAIやメタバース構築など、現地実習を含む地域のニーズに応じたPBLを実施。
- ・岐阜県及び岐阜車体工業㈱、トーエネック㈱などの企業と連携して、PBLを含む科目を充実する予定。

13

多様な入学者の確保に向けた取組（1）

【計画及び進捗状況】①（建築デザイン創造学科）

- ・入学者に求められる基本学力としての数学、物理の科目の導入、総合型選抜における課題の導入
 - ➔工学系の先生を中心に内容を検討している。
- ・出前授業については、工学系や理数系の学科を持つ高等学校を重点的に実施
 - ➔進めている。
- ・建築関係の資格取得や最先端のDX・GXの知識に関するニーズに応えるため現在本学全体として進めている授業のe-Learning化を活用してのリカレント教育、リスキングへの対応する科目を充実、科目等履修生、聴講生の受け入れを推進
 - ➔リスキングに対応する科目等を検討することとしている。

14

多様な入学者の確保に向けた取組（2）

【計画及び進捗状況】②（食農デザイン学科）

- ・ 入学者に求められる基礎学力としての生物、化学、数学の科目の導入、総合型選抜における課題の導入及び特別選抜
 - ➔ 農学系の先生を中心に内容を検討している。
- ・ 出前授業については、農学の学科を持つ高等学校を重点的に実施
 - ➔ 農業高校をはじめとして進めている。
- ・ 長期履修制度や社会人履修証明プログラムの検討を進め、リスキリングとして食農教育ができる栄養教諭や子育て世代への安全・安心な食を提供できるバイヤー、商社でのマーケティングができる人材育成を科目等履修生、聴講生の受け入れで推進
 - ➔ リスキリングに対応する科目等を検討することとしている。

15

多様な入学者の確保に向けた取組（3）

【計画及び進捗状況】③（デジタルフロンティア学科）

- ・ 入学者選抜においては、記試験とCBT、面接により、DX化を積極的に推進する意欲のある学生を選抜、面接では、発想力・創造力豊かな学生を選抜
 - ➔ 工学系の先生を中心に内容を検討している。
- ・ 教育DXとして、地域の初等中等教育段階の学校との連携、メタバースに小中学生が国内の遠隔地や海外の小学生と交流を行う「遠隔協働学習教室」等を設置
 - ➔ 遠隔協働学習教室を設置し試みを展開した。
- ・ メタバースの利活用、モーショキャプチャの利用、AIを利用したメタバース内での応答システムなど社会人の関心が高い分野での履修科目を充実、科目等履修生、聴講生の受け入れを推進
 - ➔ 岐阜県、下呂市、企業と連携し地域に根差す人材養成を開始している。

16

事業概要等説明資料（2） － 現地調査事前質問事項に対する回答 －

令和7年11月18日

岐阜女子大学

1

事前質問 1

「高校生や地域のニーズに合致しそれぞれのディプロマポリシーを実現するためのカリキュラムの策定、ディプロマポリシーとカリキュラムの整合、それを支える大学設置基準に適合する教員数の確立と確保が課題」であり、対応として「企業へのニーズ調査並びにカリキュラムマップの作成など、趣旨とカリキュラムの整合性を図りつつ、県の高校生への再度のアンケート調査、オープンキャンパス等での調査、業者による調査と並行して企業及び先行大学等の視察、ディプロマポリシーの具現策を策定する」とのことだが、現在までの進捗状況について説明してください。

2

事前質問1に対する回答【進捗状況】①

- 高校生ニーズ（教育委員会との連携）
 - 7年2月 県内高校の第1回ニーズ調査
 - 7年10月 県内高校の第2回ニーズ調査
- 企業ニーズ
 - 7年9月以降 協力関連企業と連携によるニーズ調査
 - 商工会議所との連携によるニーズ調査
 - 市場調査会社によるニーズ調査
- 先行施設への視察・調査
 - 岐阜大学、摂南大学、近隣地域連携企業等

3

事前質問1に対する回答【進捗状況】②

- 令和6年9月 建築デザイン創造学科 高村秀紀氏委嘱(～3月)
 - ・令和6年9月 食農デザイン学科 福井博一氏委嘱(～3月)
 - ・令和6年9月 デジタルフロンティア学科 鎌部浩氏委嘱(～3月)
- 令和6年12月 建築デザイン創造学科設立協議会開催(～3月)
 - ・令和7年1月 食農デザイン学科設立協議会開催(～3月)
 - ・令和6年12月 デジタルフロンティア学科設立協議会開催(～3月)

4

事前質問 2

さらに今後の具体的な教員確保について、その取組状況と今後の展望を説明してください。

5

事前質問 2 に対する回答【教員確保の取組状況と今後の展望】

- 近隣国立大学との連携・支援
 - ・今年度から元岐阜大学応用生物科学部長を採用。（健康栄養学科）
- 教員公募
 - ・今年度から1名の教員を採用、来年度1名の教員を採用予定。（建築デザイン専攻）
- 連携機関からの支援(現職教員の確保)

6

事前質問 3

令和7年度において大学（学士課程）の総収容定員充足率が0.60と未充足の状況となっているが、入学者数が収容定員を大幅に下回った原因として考えられることを説明してください。また、その改善策及び対応状況について説明してください。

7

事前質問 3 に対する回答（1）

【入学者数が定員を下回った主な原因】

- 学科で学べる認知度の不足
 - ・先行的に実施している活動や、学科で学べる内容の認知が、高校生や保護者へ十分に広がっていない。
- 地域内の高校生の進学志向の影響
 - ・岐阜県内では、名古屋や首都圏等の都市部の大学や専門学校への進学志向が強い。
- 入試広報の弱さ
- 高校との接続不足

8

事前質問3に対する回答（2）

【改善策と対応状況】①

○広報活動の強化

- ・オープンキャンパス等での体験授業や模擬講義の多様化
- ・行政機関と連携した本学の特徴を生かした行事等への積極的参加
- ・学科が推奨する資格の取得とプラスアルファの学修支援の強化
- ・理工系の考え方や統計解析の学びを付加した授業展開
- ・教職一丸の学校訪問
- ・地域連携プロジェクトへの積極的参加
- ・オープンキャンパスにおける個別対応（個々ニーズに応える）
- ・在学生・卒業生の声を届ける

9

事前質問3に対する回答（2）

【改善策と対応状況】②

○入試方法の見直し

- ・多様な高校（実業高校等）の学修での成果を見いだせる入試（総合型選抜や学校推薦型選抜等）の工夫・改善

○高大連携・企業連携等による魅力発信

- ・連携事業を通しての大学説明

○奨学金の在り方を見直し

- ・生活支援型 ⇒ 自己研鑽型

10

事前質問4

企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施について、それぞれの計画は、今回の計画でコーディネーターや協議会メンバーの協力より、量・質ともに進んできている。これらの実績を高校や企業等に広報し、学生確保につなげる必要がある」とのことだが、その取組状況と今後の展望を説明してください。

11

事前質問4に対する回答（1）

【コーディネーター・設立協議会】①（建築デザイン創造学科）

○コーディネーター：高村秀紀（信州大学工学部教授）

○設立協議会構成員

委員：コーディネーター（信州大学工学部教授）

委員：岐阜県教員委員会 教育主幹

委員：大垣工業高等学校 副校長

委員：（株）清水建設名古屋支店 副支店長

委員：ダイワハウス賃貸リフォーム（株）中部支店工事部課長

12

事前質問4に対する回答（1）

- 【コーディネータ・設立協議会】②（食農デザイン学科）
- コーディネータ：福井博一（元岐阜大学応用生物科学部教授）
 - 設立協議会構成員
 - 委員：コーディネータ（元岐阜大学応用生物科学部教授）
 - 委員：岐阜県教育委員会 課長
 - 委員：岐阜農林高等学校 校長
 - 委員：ぎふ農業協同組合 みどり戦略部 部長
 - 委員：（公財）伊藤青少年育成奨学会
 - 委員：岐阜県農政部農産園芸課 花き・農業環境対策監

13

事前質問4に対する回答（1）

- 【コーディネータ・設立協議会】③（デジタルフロンティア学科）
- コーディネータ：鎌部 浩（元岐阜大学工学部教授）
 - 設立協議会構成員
 - 委員：コーディネータ 元岐阜大学工学部教授
 - 委員：岐阜県教育委員会 教育主管
 - 委員：可児工業高等学校 校長
 - 委員：（公財）ソフトピアジャパン 副理事長
 - 委員：（株）電算システム公共営業部 部長

14

事前質問4に対する回答（2）

【現在の取り組み状況】①

- PBL科目の体系的整備
 - ・1年次から段階的に「地域課題解決PBL」「地域連携プロジェクト」など、実践的な学びを展開。
- 自治体との連携事業
 - ・下呂市及び下呂温泉旅館協同組合と様々なプロジェクトを推進。
 - ・近隣の市町と地域住民の健康に関する連携事業を推進。
- 地域企業との連携事業
 - ・近隣の体験農園と連携。収穫食材を使用した健康増進事業を展開。
 - ・空き家リノベーション等のプロジェクト。
(自治体・企業等と協働)

15

事前質問4に対する回答（2）

【現在の取り組み状況】②

- 実績の蓄積と可視化
- 広報活動の展開
 - ・SNSや動画コンテンツでも事例紹介を行い、学科の魅力発信。

16

事前質問4に対する回答（3）

【今後の展望】

- 科学的思考方法に触れ、広い視点からの学修スキルを獲得した人材育成

- 自分の力を認識し、目的を持って社会貢献できるマインドを持った人材育成

- 地域との共創型教育モデルの確立を目指し、地域社会への貢献